

担当者氏名		専門分野	
松本 太郎		再生医学、血管生物学	
一般教育目標(GIO)			
幹細胞生物学に関する基礎知識および解析技術を習得し、最近の細胞治療、再生医療の研究・臨床の動向を理解した上で、新たな基礎研究または臨床展開研究を行う。			
行動目標(SBOs)			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞治療や再生医療の現状を理解し、説明できる。 2. 幹細胞の分離・培養、形質解析技術について、原理を理解し利用できる。 3. 生体における幹細胞の動態や機能などを分子レベルで解析できる。 4. 文献をもとに研究を立案、遂行し、成果発表をすることができる。 			
学習方略(LS)			
1年次	前期	セミナーへの参加などを通じて、再生医学、幹細胞生物学の基礎知識を習得する。研究テーマを立案し、新規性、実現可能性などを検討する。	
	後期	分析機器の使用法、細胞培養法、分子生物学的手法など研究に必要な基本技術を習得する。研究テーマを決定し、研究計画書を作成する。	
2年次	前期	1年次に引き続き研究に必要な基礎知識、基礎技術の習得を行う。個々の研究テーマに従い、実験を開始する。	
	後期	1年次に引き続き研究に必要な基礎知識、基礎技術の習得を行う。個々の研究テーマに従い、実験を遂行し、データを蓄積する。	
3年次	前期	2年次に引き続き、実験を遂行し、データを蓄積する。得られたデータを解析し、研究成果をセミナーなどで発表する。	
	後期	2年次に引き続き、実験を遂行し、データを蓄積する。得られたデータを解析し、研究成果をセミナーなどで発表する。	
4年次	前期	3年次に引き続き、実験の遂行とデータ解析を行い研究成果をまとめる。研究成果を国内・国外の学会で発表する。学位論文を作成する。	
	後期	研究成果を国内・国外の学会で発表する。学位論文を完成させる。英文論文を作成し、学術雑誌に投稿する。	
評価方法			
定期的に個別ミーティングを行い、基礎知識の習得度、研究の進捗状況から評価を行う。また学会発表内容や議論への参加、作成された論文の内容、学習姿勢などを総合的に評価する。			
講義・実習指導項目			
日本語	幹細胞生物学に関する基礎知識や、最新の知見を理解し、難治性疾患に対する新しい細胞治療や再生医療の開発につながるような研究を行う。		
Key Words (3words)	1	stem cell	
	2	regenerative medicine	
	3	cell therapy	
その他(教科書やオフィスアワーなど)			
オフィスアワーは、学生が事前にアポイントメントをとらなくても、各教員の研究室を訪れることができる時間帯のことです。			
教科書：幹細胞研究と再生医療 中内啓光 編 (南山堂)			
オフィスアワー：火・木 15時-17時			
連絡先：リサーチセンター地下1階 細胞再生・移植医学分野研究室 (内線2703)			
準備学習：各自の研究に必要な学習を事前しておくこと			